

国保事業推進トップセミナー

「新たな医療保険制度の仕組みや保険者機能の強化について認識を深める」



平成29年1月11日（水）、岐阜県福祉・農業会館2階大会議室で、岐阜県と本会の共催により、国保をはじめとする医療保険制度の現状及び今後の展望について一層の認識を深め、国保事業の推進に資することを目的に本セミナーを開催し、市町村長及び国保組合役員等62名が一堂に会しました。

主催者である岐阜県健康福祉部の尾藤米宏部長は開会あいさつの中で、昨年末の政府予算案編成の中で、消費増税延期の影響から改革の前提条件である財政安定化基金の造成規模が、国と地方が合意した2000億円から300億円削減する案が示されたことに触れ、全国知事会が国に対し確実な実行を強く要請し、12月19日の国と地方の協議の場において、平成32年度末までに、速やかに必要な積み増しを行い確保するとして決着した経緯について説明しました。

また、同じく地方が求めてきた医療費助成に対する国保の減額調整措置の廃止について、部分的であるが



理事長開会挨拶



健康福祉部長開会挨拶

廃止の方向性が示されたことについても説明し、「県としては今後も国の動向を注視し、全国知事会などの地方六団体と連携して必要な働きかけを行っていきたくと考えている。また、制度改革に向け市町村をはじめ関係機関と一層の連携を図り、着実に準備を進める」と述べました。

続いて、同じく主催者である本会の小川敏理理事長（大垣市長）は、「国保制度は近年、非常に危機的な状況が続いており、平成30年度からの国保の財政運営主体の都道府県単位化に向け、現在、国や県、市町村では国保の維持・財政健全化へ向けた改革の準備が進められている」と国保を取り巻く現状を話し、「本会とし

でも制度改正に伴う各種システム機器更改や安定稼働など万全な体制で準備を進めるとともに、国保総合システムを活用した審査支払業務の充実・強化、保健事業、保険者支援などの医療費適正化に努め、積極的に保険者の共同体としての使命を果たしていく」とあいさつしました。

健康づくりとまちづくりの取り組みに期待

その後、「国民健康保険改革の施行に向けて」と題し、厚生労働省保険局国民健康保険課課長補佐の島添悟亨氏より基調講演が行われました。

島添氏は、今回の改革で保険者に期待される役割として、「これからは医療費を必要としないような体質を作っていくことに注力し、医療費の効率化・適正化を進め、積極的に被保険者に対し健康づくりを働

きかけ、地域の関係者と連携協力したまちづくりに取り組むことが強く求められる」と述べられました。

また、保険者機能の強化として、特定健診・特定保健指導の推進、データヘルス計画の推進、糖尿病性腎症の重症化予防の取り組み、地域包括ケアの推進などを挙げて、「これらを支援する体制として保険者努力支援制度を前倒し実施するため、各地域において主体的に取り組むを進めていただきたい」と話されました。

講演の最後に行われた質疑応答では、軽減判定所得の計算方法の誤りや市町村ごとの判断による一般会計からの法定外繰入に関する質疑に対し、国の考えを説明されました。

健康とはすべての面において積極的にになれること

午後からは、「タニタ社員食堂に



基調講演 島添悟亨氏



特別講演 後藤恭子氏



副理事長開会挨拶

学ぶ太らない法則」と題し、管理栄養士・THP産業栄養指導者でヘルスケアオンライン株式会社取締役の後藤恭子氏より特別講演が行われました。

後藤氏は、タニタ社員食堂の礎を築いた初代管理栄養士で、多くの企業、病院等で栄養管理、栄養指導を行ってきた経験から、健康的な生活習慣を伝えること、「食べ方」やそれを支える「考え方」を伝えることをミッションとしていると自己紹介されました。

講演では、健康とは全ての面において積極的にになれる状態にあることで身体的・精神的及び社会的に完全に良好な状態を指し、単に「病気ではない」とか「虚弱ではない」ということではなく、生理的・心理的さらに社会的見地からみても完全に調和のとれた状態であることや日頃の生活習慣などについてチェックリストを用いて自己分析を行い、自分自身に意識を向けることが大切であると述べられました。

また、「健康な身体」とは「太らない身体」のことであり、普段から運動と食事のバランスが取れた生活を心がけ、今より10分多く体を動かすことで、糖尿病、心臓病、脳卒中、がん、ロコモ、うつ、認知などの病気になるリスクを下げられる



主催者

ことや、食べ過ぎや飲み過ぎも1週間単位で調整すればよいと考え、無理をしないことが大切であると、「毎日の食事が人生を豊かにする。自分の健康は自分で守りましょう」と締めくくられました。

最後に、閉会のあいさつとして本会の南山宗之副理事長（坂祝町長）が、「国保の都道府県単位化まで残り短い期間でスケジュールは非常にタイトであるが、引き続き準備を進めて無事移行できるように協力をお願いしたい」と述べて、全日程を終了しました。